

# 長岡京市スポーツ推進計画

「あんたもスポーツ心をプラン」



平成27年4月

長岡京市教育委員会





---

## 目次

---

前文	1
----	---

---

---

運動・スポーツの意義

第1章 計画の策定	2
-----------	---

---

---

1-1 計画策定の趣旨

1-2 計画の基本理念

1-3 運動・スポーツの定義

2 計画の位置づけ

3 計画の期間

4-1 長岡京市の運動・スポーツの現状

4-2 長岡京市の運動・スポーツ環境

第2章 10年間を見通した計画の基本方針・施策	9
-------------------------	---

---

---

計画の基本方針

計画の基本施策

計画の目標設定

第3章 今後5年間に取り組む施策	15
------------------	----

---

---

---

### 参考資料

「スポーツに関する市民意識調査」報告書（概要版）



## 運動・スポーツの意義

運動・スポーツは、体を動かすという人間の欲求に答え、心身の健全な発達、健康や体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、生活習慣病の予防など、人々が生涯にわたって心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっています。

また、青少年の健全な育成を促し、仲間や指導者との交流を通じて豊かな心や他人への思いやりを育むほか、フェアプレーの精神や<sup>こっきしん</sup>克己心を身に付けさせ、人格の形成に大きな影響を及ぼします。

スポーツにおけるトップチームやトップアスリートの活躍は、人々に夢や勇気、感動を与え、スポーツへの関心を高めます。

更に、運動・スポーツは、人と人との交流や地域間の交流を促し、地域の連帯感の醸成や、高齢者の介護予防に寄与するなど、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に欠かせません。

体を動かすことはもとより、健康作りや体力作りの知識や技術を身に付けて生活を送ること、スポーツ観戦を楽しむことやスポーツ活動をサポートすることなども、生活の質的向上やゆとりのある生活を実現する上で、大きな効果があります。

# 第1章 計画の策定

## 1-1 計画策定の趣旨

本市では、平成17年度から平成26年度までの10年間、長岡京市にふさわしいスポーツ文化を創造し、「生涯スポーツ社会」の実現を目指す「長岡京市スポーツ振興計画」を策定し、スポーツの振興に努めてきました。

平成23年に制定されたスポーツ基本法においては、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとされています。また、スポーツは、青少年の健全育成や地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、更に我が国の国際的地位の向上など、国民生活において多面にわたる役割を担うとされています。

今回、平成24年3月に策定された国の「スポーツ基本計画」を受けて、スポーツ基本法第10条の規定に基づく「地方スポーツ推進計画」として、平成27年度を計画初年度とする「長岡京市スポーツ推進計画」を策定するものです。

策定に当たっては、「スポーツ基本計画」を参酌し、「長岡京市第3次総合計画」及び平成28年度に策定される「長岡京市第4次総合計画」の個別計画として、スポーツの振興に関する諸施策を踏まえたものとしています。

更に、前計画「長岡京市スポーツ振興計画」における基本的な考え方を継承した上で、今後10年間を通じた基本方針を明らかにするとともに、今後5年間にどのように具体的な施策に取り組んでいくかを、客観的な到達目標を明らかにしつつ、現状の課題の分析や、それを踏まえた展開すべき施策を明示した、本市のスポーツ推進の基本となる計画です。

## 1-2 計画の基本理念

『あんたもスポーツ心を！』

…… いちしみんいち ー市民ースポーツをめざして……

元気な“からだ”を持とう。

明るい“こころ”を持とう。

ふれあう“なかま”を持とう。

少子高齢化が急速に進む社会において、市民の誰もが健康を実感しながら生き生きとした暮らしを送ることのできる健康長寿社会の構築は、極めて重要な課題です。

運動・スポーツには、心身の健康の保持増進だけではなく、青少年の健全育成や地域社会の再生、社会・経済の活力の創造等、市民生活において多面にわたる効果が期待されています。

市民の誰もが、各々の関心や適性等に応じて、生涯にわたって自発的かつ日常的に運動・スポーツに親しみ、そして運動・スポーツを支える活動に参画することのできる機会を確保することを目指します。

そのため、昭和63年の本市の「スポーツ振興の理念」を継続させ、一層の発展を期すこととしました。

市民の誰もが「スポーツ心」を持って、幸福で豊かな生活を営むことができる「生涯スポーツ社会」を創り出すことを目指した、基本理念です。

### 1-3 運動・スポーツの定義

スポーツ推進計画では、一般的な競技スポーツからレクリエーションスポーツだけでなく、ウォーキングや登山、健康体操やラジオ体操から、通勤・通学など日常生活の一部まで、スポーツ心をもって行われるさまざまな活動をとらえて、運動・スポーツと定義します。

また、スポーツの観戦や応援を通じてさまざまなスポーツにふれることや、スポーツに打ち込む人、これからチャレンジする人々を支援・指導すること、そして、運動・スポーツをとおして新たな出合いやつながりを創ること、これらのスポーツ心を持って行われる行為すべてを総称して、運動・スポーツと定義します。

#### スポーツ心 とは・・・

「スポーツ」とは、運動競技や体を動かすことすべてを指しており、心身の健全な発達を図るためにされるものです。「スポーツ」ということばから湧き出るイメージから、「健康」「挑戦」「忍耐」「努力」「向上心」「達成感」「リフレッシュ」「継続」「スピリッツ」「楽しみ」「フェア」「仲間」「礼儀」「感動」「友情」などを総称して、『スポーツ心』と呼び、生活全体に波及することを期待しています。

## 2 計画の位置づけ

### ◆法的な位置づけ

スポーツ基本法第10条の「その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画」と位置付けます。

### ◆国・府の計画との関係

国の「スポーツ基本計画」及び、京都府の「京都府スポーツ推進計画」を踏まえた、地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画とします。

### ◆本市の上位計画との関係

長岡京市政の指針である「長岡京市第3次総合計画」及び「長岡京市第4次総合計画」の個別計画として位置付けます。

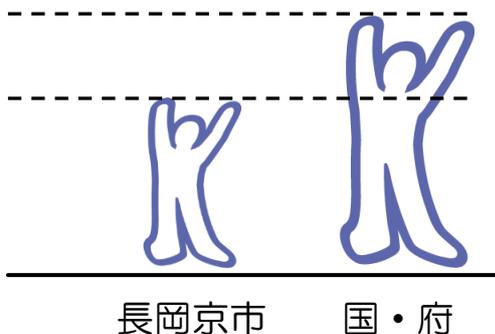
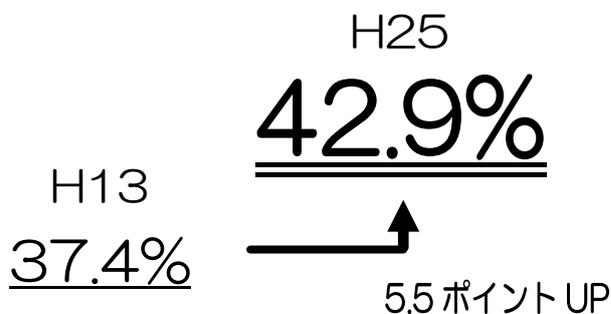
## 3 計画の期間

本計画は、国の「スポーツ基本計画」及び、京都府の「京都府スポーツ推進計画」の期間と合わせ10年間を見通したものとして策定します。具体的に取り組む施策や数値目標等については、平成27年度から平成31年度まで5年間の内容とします。なお、5年後には、その時点での進捗状況や社会情勢の変化に応じて、必要な見直しを行うものとします。

## 4-1 長岡京市の運動・スポーツの現状

### 市民スポーツの実施率

平成25年度に実施した意識調査の結果によると「週に1回以上運動・スポーツを実施する人」は42.9%と、平成13年度に実施した時よりも5.5ポイントアップしたものの、目標の50%には届きませんでした。



### 子どもの体力

文部科学省が実施している新体力テストの結果を、長岡京市の平均値と国、府の平均値とで比較してみると、半数以上の項目で長岡京市が下回っている現状です。

### 運動・スポーツの競技力

スポーツ振興計画では、京都府民総合体育大会常時入賞の目標を掲げていました。平成17年から現在まで、10年間で9回入賞しており、おおむね目標を達成しています。

目標：府民総体常時入賞

結果：10年間で9回入賞！

さらに・・・

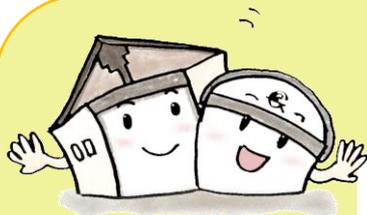
オリンピック選手が4人誕生※平成24年



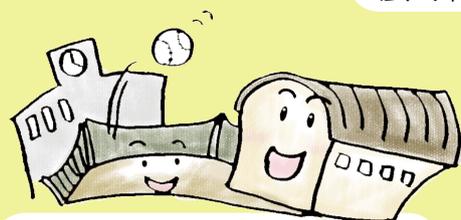
### 運動・スポーツ施設

平成25年度に実施した意識調査の結果によると「今後のスポーツ振興に必要な施策」についての回答は、スポーツ施設の整備・充実が最多でした。

## 4-2 長岡京市のスポーツ環境



- 西山公園体育館・スポーツセンター  
若葉カップなどの大規模な大会の開催や、日ごろの運動・スポーツ活動などに広く利用されています。



- 小中高等学校体育施設  
「学校開放」として、運動場や体育館・武道場を市民向けに開放し、日ごろの運動・スポーツ活動に利用されています。

# 施設

- 公園など  
体操やウォーキング、子どもの遊び場として広く利用されています。長岡公園ではテニスを楽しむこともできます。  
さらに、洛西浄化センターでは、テニスや野球だけでなく、芝生のグラウンドでサッカーを楽しむこともできます。

豊かな自然に季節の移ろいを感じながら歩く西山ウォーキングコースでは、会話も自然と弾みます。



- 民間のスポーツ施設  
長岡京市には、トレーニングジムやプール、テニスコートなど、さまざまな民間のスポーツ施設があり、多くの市民に利用されています。



- 市全体が運動・スポーツ施設！？  
「スポーツ心」をもって活動すれば、自分の部屋が、駅までの道路が、どこでも運動・スポーツを行う事が出来ます！



クラブ  
サークル



行政

スポーツ推進委員  
小中学校  
関係各課 など



体育協会

スポーツ団体連合  
スポーツ少年団  
総合型クラブ など

# 組織

C Z



府立・私立  
学校

乙訓高校  
西乙訓高校  
立命館中・高校



NPO

地域の指導者



## 第2章 10年間を見通した計画の基本方針・施策

### 計画の基本方針

# ひろげる

## する

- だれでも気軽にスポーツを楽しむことができる
- スポーツに打ち込める環境がある

## ふれる

- 世代を超えて楽しめるスポーツがある
- スポーツを始めるきっかけが生まれる

## 支える

- 指導者やボランティアスタッフとして活躍できる
- スポーツに関する知識や経験を得ることができる

## つなげる

- 地域のつながりが強くなる
- スポーツをとおした出会いがある

運動・スポーツの定義に基づき、長岡京市スポーツ推進計画では、スポーツの基本方針を「するスポーツ」「ふれるスポーツ」「支えるスポーツ」「つなげるスポーツ」の4つの視点からとらえ、「ひろげる」という大きな視点で、市民一人ひとりが広く運動・スポーツに親しむことができるように、具体的施策を進めていきます。

### するスポーツの例・・・

- 部活動やサークルで好きなスポーツに打ち込む
- 健康のために、駅まで10分歩いて通勤・通学している
- 全国大会・世界大会を目指して日々練習に励む

### ふれるスポーツの例・・・

- スポーツの試合を観戦する
- 運動会などで、家族やチームを応援する
- スポーツ教室などで、新しいスポーツや地域独自のスポーツを体験する

### 支えるスポーツの例・・・

- スポーツイベントにボランティアスタッフとして参加する
- 地域のスポーツ指導者として活躍する
- 行政と協働してさまざまな支援を行う

### つなげるスポーツの例・・・

- 他市の総合型クラブと協働し、イベントを行う
- 部活動の一環で、小学生に指導をする
- スポーツ大会に参加し、世代を超えた交流を行う

## 計画の基本施策

### する スポーツ

#### ●市民運動・スポーツ機会の充実

市民大運動会など全市的な運動・スポーツイベントから、親子で参加できるもの、障がい者が参加できるものなど、さまざまな運動・スポーツイベントの充実をはかり、市民が運動・スポーツに親しむ機会の確保に取り組みます。

#### ●運動・スポーツの「見える化」

運動・スポーツをするためには、情報を知ることが重要です。運動・スポーツイベントや教室の情報発信に力を入れて取り組み、より市民が情報を得やすい環境を作り取り組みます。

### ふれる スポーツ

#### ●運動・スポーツをより身近なものに

トップアスリートとの交流や、現地に大会などを見に行くことにより、運動・スポーツに直接にふれ、より身近に感じることができるよう、全国大会の誘致や、観戦ツアーなどの実施について取り組みます。

また、市民が運動・スポーツをより身近に感じることができるよう、運動・スポーツ施設の連携や利用時間の拡大に取り組みます。

## 支える スポーツ

### ● さまざまなかかわり方を

指導者として、ボランティアとして、企業として、その他にも運動・スポーツに対するさまざまなかかわり方を検討し、取り組みます。

### ● 総合型地域スポーツクラブ

地域スポーツの拠点としての役割が期待される総合型地域スポーツクラブの活動に対して支援を行います。また、未設立校区と設立済み校区が情報交換し、すべての小学校区に総合型地域スポーツクラブが設立されるよう支援します。

## つなげる スポーツ

### ● 世界とつなげる

運動・スポーツをとおして世界とのつながりを感じ、夢や希望を抱けるようなイベントなどの実施に取り組みます。

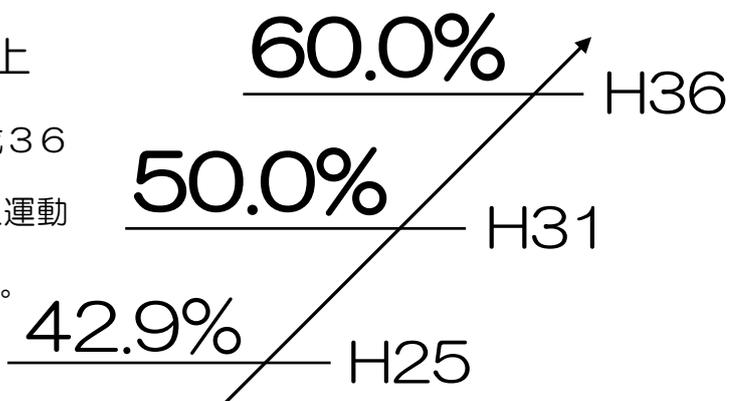
### ● 垣根を越えた交流

小学校と中学校、高等学校など学校の垣根を越えた運動・スポーツ交流や、市内の総合型クラブと、市外や京都府外の総合型クラブとが協働してイベントを実施するなど、垣根を越えた交流を行い、運動・スポーツをとおした輪の拡大に取り組みます。

## 計画の目標設定

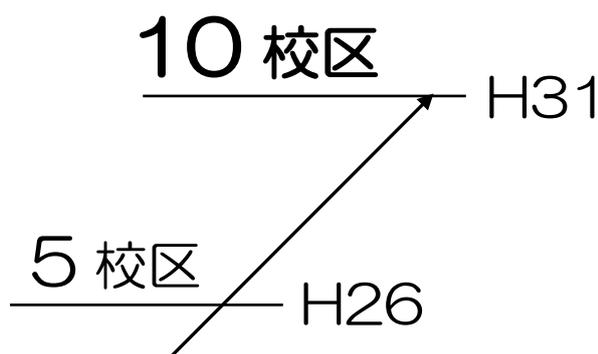
### 市民スポーツ実施率の向上

20歳以上の市民のうち、平成36年には60%の市民が週1回以上運動やスポーツを行う事を目指します。



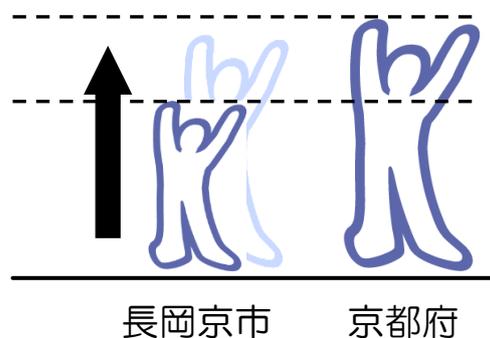
### 総合型クラブの設立

長岡京市にある10小学校区すべてに総合型地域スポーツクラブの設立を目指します。



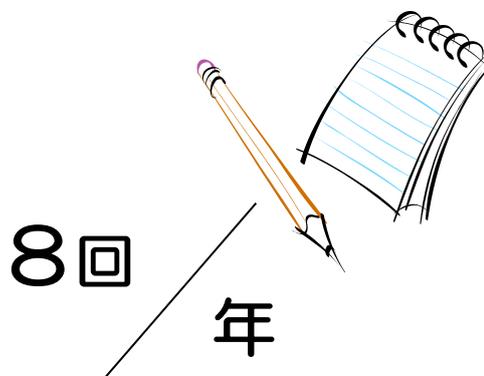
### 子どもの体力向上

新体力テストの結果を京都府の平均と比較した際に、半数の項目で京都府の平均を上回ることを目指します。



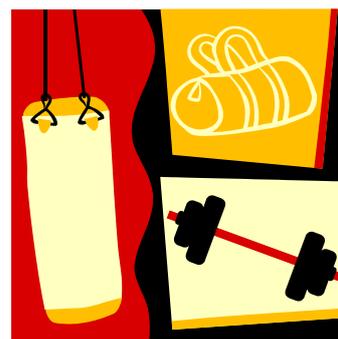
## 講座・研修会の充実

運動・スポーツに関する指導者向けの研修会や市民向けの講座を充実し、支えるスポーツの拡大を目指します。



## 運動・スポーツ施設の機能充実・整備

市内にある既存の運動・スポーツ施設の機能充実や、身近な運動・スポーツ施設の整備に計画的に取り組みます。



## 京都府民総合体育大会で常時入賞

前スポーツ振興計画では、おおむね目標達成となった府民総体での常時入賞については、今後も継続して常時入賞を目指します。



## 第3章 今後5年間に取り組む施策

### する スポーツ

#### ◆全市的な運動・スポーツイベントの開催

運動・スポーツをする、継続して行うきっかけづくりとなるような、全市的なイベントの開催に継続して取り組みます。また、運動・スポーツをより身近に感じられるように、市民スポーツフェスティバルや総合型クラブフェスティバルを開催します。

- ・市民大運動会や市民マラソンの実施
- ・市民スポーツフェスティバル、総合型クラブフェスティバルの実施
- ・あらたな全市的な運動・スポーツイベントの検討

#### ◆地域の運動・スポーツイベントの充実

市民にとって身近で、参加しやすい地域単位での運動・スポーツイベントを充実させることで、市民の運動・スポーツ実施率の向上、心身の健康増進を図ります。

- ・地域・スポーツ振興事業の実施

#### ◆子どもの運動・スポーツの充実

子どもの体力・運動能力低下に歯止めをかけ、向上を目指すためにも、幼児期からの運動習慣の定着や、保護者への啓発活動に取り組みます。また、スポーツ少年団や学校運動部活動を支援することで、子どものスポーツ人口拡大に取り組みます。

- ・親子で参加できる運動・スポーツ教室やイベントの開催
- ・スポーツ少年団、学校運動部活動の支援
- ・新体カテストを活用した学校体育における取り組みの検討



## ◆ニーズに合わせた運動・スポーツイベントの充実

高齢者や障がい者など、それぞれ運動・スポーツをする人に合わせたイベントや教室の実施に取り組み、心身の健康の増進に取り組みます。

- ・高齢者、障がい者が参加できる運動・スポーツイベントの実施
- ・だれでも親しむことのできる、運動・スポーツ種目の検討

## ◆競技力向上のための、指導体制の充実

学校部活動や競技団体の活動に、地域の運動・スポーツ指導者を活用できる体制作りに取り組み、競技力の向上を図ります。

- ・学校部活動や競技団体への指導者派遣体制の構築
- ・各種目の指導者間交流の実施

## ◆情報発信の強化

体を動かすための場所や運動・スポーツ教室の開催情報など、情報を知り、体を動かすきっかけがうまれるように、ホームページなどさまざまなツールを活用し、運動・スポーツに関する情報発信の強化に取り組みます。

- ・運動・スポーツ教室や、全市的なイベントの周知
- ・障がい者スポーツ、女性スポーツの活動や、高齢者の健康増進活動の啓発
- ・長岡京市ゆかりの選手の活躍情報の掲載

## ふれる スポーツ

### ◆トップアスリートと交流する機会の確保

京都府の事業などを活用し、トップレベルで活躍するアスリートのプレーを見ることで、運動・スポーツに対する興味関心を高めます。

- ・学校教育におけるトップアスリートとの交流機会の確保
- ・トップアスリートを招いた講演会などの検討

### ◆運動・スポーツ観戦機会の充実

パブリックビューイングや試合観戦など、多くの人々が一体となってスポーツにふれる機会を設けることにより、運動・スポーツをとおした一体感、感動、興奮にふれ、運動・スポーツに対する興味関心を高めます。

- ・パブリックビューイングなど集団観戦できるイベントの実施
- ・プロスポーツと連携したスポーツ観戦ツアーの検討

### ◆全国大会の実施、誘致

若葉カップなどの全国大会の継続実施や、新たな全国規模の大会の誘致など、長岡京市でトップレベルの運動・スポーツにふれる機会の確保に取り組みます。

- ・若葉カップ全国小学生バドミントン大会の実施
- ・全国大会や、プロスポーツ大会の誘致

### ◆運動・スポーツ施設の連携と利用時間の拡大

より多くの市民が運動・スポーツをすることができるように運動・スポーツを行う場所と時間の確保に取り組みます。

- ・市外の運動・スポーツ施設との連携方法の検討
- ・学校体育施設の利用時間延長の検討

## 支える スポーツ

### ◆スポーツボランティアの登用

支えるスポーツの代表ともいえるスポーツボランティアを活用することで、運動・スポーツに対する多様な関わりかたの機会を提供します。

- ・若葉カップ、市民マラソンなどでのスポーツボランティアの活用
- ・スポーツボランティアが活躍できる機会の検討

### ◆研修会や講座の充実

運動・スポーツの指導者や、子どもが運動・スポーツをしている保護者などに向けて、支えるスポーツに必要な知識を得るための研修会や講座を実施します。

- ・指導者向け研修会の定期的な開催
- ・スポーツ推進委員による研修会や講座の実施
- ・運動・スポーツに関わる様々な講座の実施

### ◆運動・スポーツ施設の整備

既存の運動・スポーツ施設の改修などを実施し、運動・スポーツを行うために必要な場所の整備に取り組みます。

- ・運動・スポーツ施設の改修、機能アップ
- ・ロッククライミングや、スケートボードなどの専用の施設が必要な種目について、施設整備の検討



## ◆スポーツ賞の充実

運動・スポーツ分野において顕著な成績を収めた者、団体に対して授与されるスポーツ賞について、支えるスポーツをとおした活躍、貢献に対してもスポーツ賞を授与できるよう検討します

- ・草の根スポーツ分野への表彰の検討

## ◆民間企業との連携

民間企業と行政とが協力、連携し、さまざまな手法で市民スポーツの振興に取り組みます。

- ・若葉カップなどの運動・スポーツ大会への支援
- ・企業が保有している施設などの市民に向けた開放の検討

## ◆総合型地域スポーツクラブの支援

地域スポーツ振興の拠点となる、総合型地域スポーツクラブを推進すべく、総合型地域スポーツクラブの活動、設立に対しての支援に取り組みます。

- ・地域スポーツ振興につながる総合型クラブ活動への支援
- ・各総合型クラブの活性化、総合型クラブ設立のために情報交換会の実施

## ◆障がい者スポーツの振興

障がい者が体を動かし、スポーツに親しむ機会を確保するとともに、障がい者と健常者が同じ立場や目線で運動・スポーツを楽しむことができる機会の創出に取り組みます。

- ・障がい者スポーツフェスティバルなどの支援
- ・障がい者と健常者が参加できる運動・スポーツイベントの検討

## つなげる スポーツ

### ◆運動・スポーツ大会の支援

同じ運動・スポーツの愛好者が集う場である市長杯をはじめとする大会実施について支援を行い、愛好者同士の交流を図ります。

また、年齢や障がいの有無にかかわらず、さまざまな人が参加できる運動・スポーツイベントを実施し、人々のつながりの創出し、交流を図ります。

- ・各運動・スポーツ種目協会への支援
- ・さまざまな人が参加できる運動・スポーツイベントの検討

### ◆国際交流

外国との運動・スポーツ交流の実施、また、国際大会を観戦することにより、運動・スポーツをとおして世界とつながる機会の提供に取り組みます。

- ・長岡京市と外国とのスポーツ交流の実施
- ・国際大会の観戦機会の検討

### ◆学校部活動の連携

市内にある小学校、中学校、高等学校の連携強化に取り組み、学校の垣根を越えた交流と、子どもの豊かな人間形成を図ります。

- ・学校の垣根を越えた学校部活動の連携方法の検討



### ◆総合型クラブの協働

市内の団体だけでなく、市外や府外の団体などと協働してイベントなどを実施することにより、総合型クラブ活動の充実に取り組みます。

- ・市外、京都府外の団体との連携、協働事業の実施

### ◆運動・スポーツ組織の連携強化

行政や体育協会をはじめとする運動・スポーツに関わる組織の連携強化につとめ、長岡京市のスポーツ振興に取り組みます。

- ・行政やスポーツ推進委員、体育協会や各種スポーツ団体などが交流する機会の確保
- ・複数の組織が連携して行う運動・スポーツイベントの検討

【参考資料】

# スポーツに関する市民意識調査

## 報告書

### 【ダイジェスト版】

平成26年9月

長岡京市



# I 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、市民のスポーツに関する活動やその実態などについて調査し、平成 13 年度及び平成 20 年度に実施した調査結果と比較し、今後の長岡京市におけるスポーツ振興の在り方について検討するための基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査項目

- (1) 基本属性
- (2) 健康や体力について
- (3) スポーツ活動の状況について
- (4) 公共スポーツ施設について
- (5) 学校体育施設について
- (6) クラブや同好会、教室について
- (7) 市内のスポーツ行事及び団体について
- (8) 障がい者スポーツの振興について
- (9) 運動・スポーツ等の指導者について
- (10) 子どもの体力向上について
- (11) 今後のスポーツ振興のために必要な施策について

## 3. 調査設計及び回収結果

調査対象	長岡京市在住の 20 歳以上の方（無作為抽出）
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	平成 25 年 10 月～11 月
対象者数	2,100
有効回答数	977
有効回答率	46.5%

## 4. 報告書の見方

- (1) 図中の N（Number of case）は、設問に対する回答者数のことである。
- (2) 回答比率（%）は回答者数（N）を 100%として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は 100.0%を超える。
- (3) 図中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。
  - ・ MA %（Multiple Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
  - ・ 3 L A %（3 Limited Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものを 3 つ以内で選択する場合

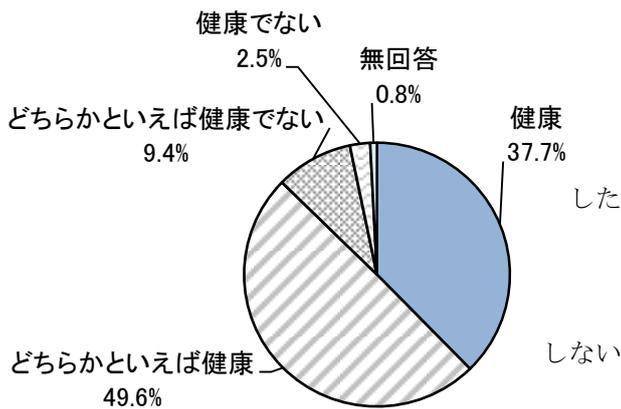
## II 調査結果

### (1) 健康状態

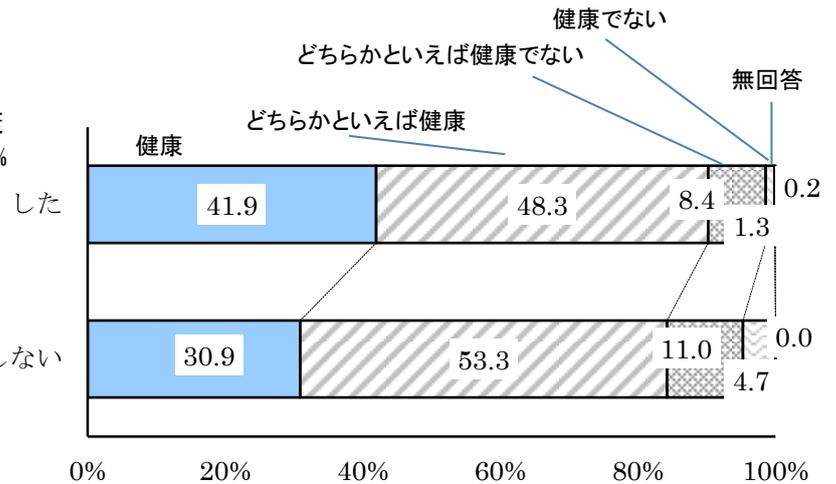
「健康」「どちらかといえば健康」が8割以上を占め、運動やスポーツ活動を行った人の方が、健康であると回答した割合が1割程度多い結果となった。

また、健康や体力について心がけていることの問いには、食生活や休養、規則正しい生活を送るといった体を動かす以外の項目が高い結果となった。

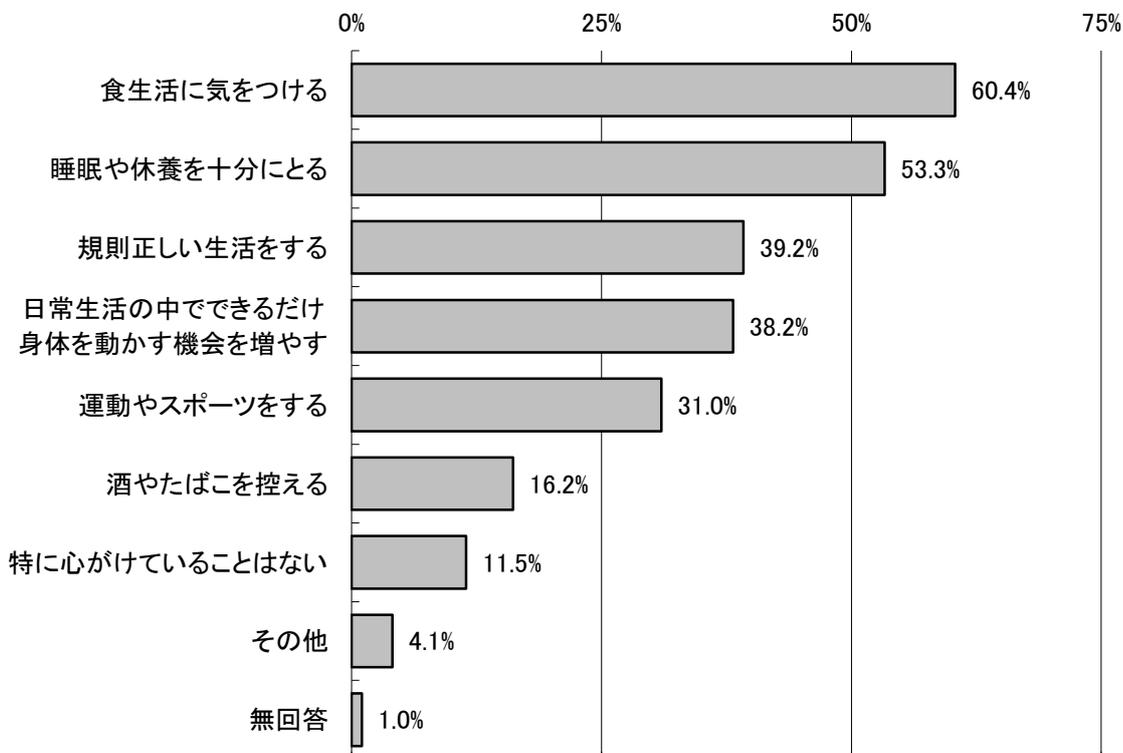
【図表 1-1】健康状態



【図表 1-2】健康状態（運動をした人しなかった人別）



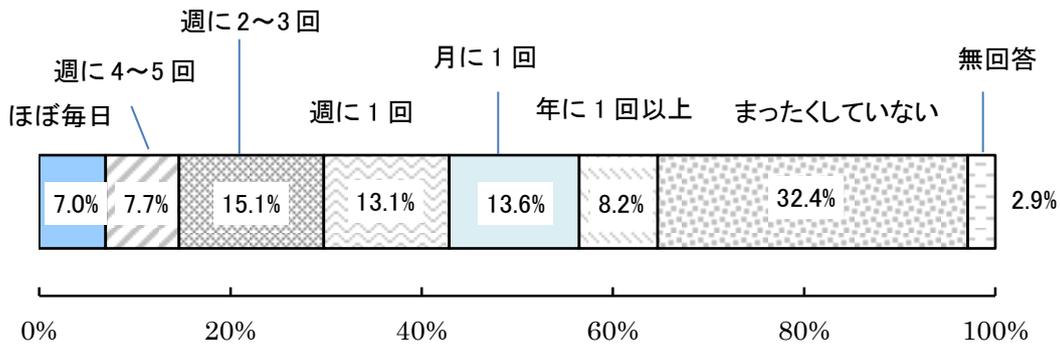
【図表 1-3】健康のために気をつけていること



## 2. スポーツ活動の状況について

週1回以上運動やスポーツを行うと回答した人が42.9%であり、平成13年調査時より5.5%増加しているが、まったくしていないと回答した人も32.4%と平成13年調査時より14.9%増加している。行っている運動やスポーツは、「ウォーキング」が突出して多く各世代で1位となっている。運動やスポーツを行う目的としては「健康・体力づくり」が最も多く、運動を行わなかった理由としては「仕事などで忙しく時間がない」との回答が多かった。

【図表 2-1 運動やスポーツを行う頻度】



【図表 2-2 運動やスポーツを行う目的・行わなかった理由（上位3位）】

運動やスポーツを行う目的			運動やスポーツを行わなかった理由		
1	健康・体力づくり	64.1	1	時間がない	42.0
2	楽しみ・気晴らし	58.2	2	きっかけがない	28.4
3	運動不足解消	49.4	3	お金がかかる	21.5

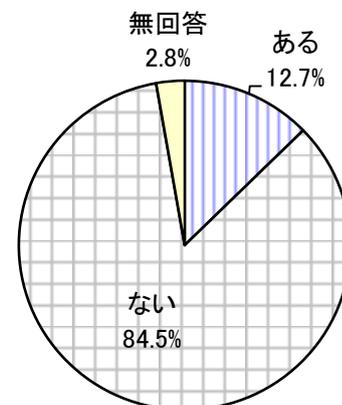
## 3. 公共スポーツ施設について

スポーツ施設については「利用したことがない」との回答が半数を超えたが、ウォーキングなど施設を必要としない運動を実施している人が多いためだと思われる。また、学校体育施設についても「利用したことがある」との回答が1割程度で低い水準となった。

【図表 3-1 公共スポーツ施設に対する要望（上位5位）】

公共スポーツ施設に対する要望（上位5位）		
1	料金手続き、支払い方法の簡略化	43.7
2	スポーツ教室や行事の充実	25.9
3	利用時間の拡大	24.2
4	更衣室、シャワー室の充実	22.5
5	利用案内等の広報の充実	22.4

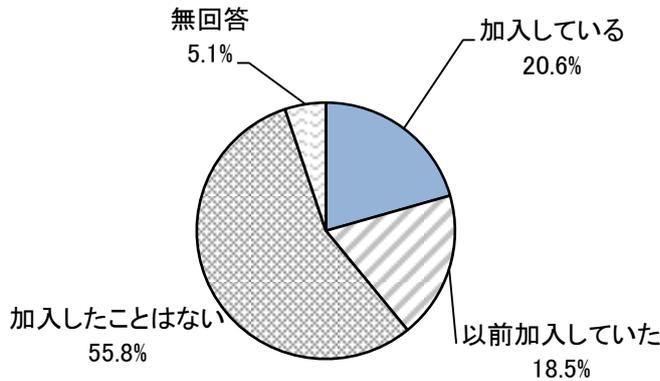
【図表 3-2 学校体育施設の利用状況】



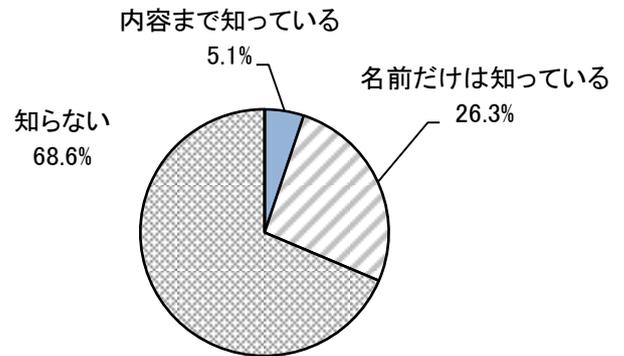
#### 4. クラブや同好会、教室について

現在クラブに加入している人は2割程度で、加入したことがない人が半数以上となっている。  
 総合型地域スポーツクラブの認知度は、平成20年調査時より6.8%増加し市民の3割程度に認知されている  
 現状である。徐々に認知度は上昇しているが、さらなる啓発活動が必要である。

【図表 4-1 クラブや同好会、教室の加入状況】



【図表 4-2 総合型地域スポーツクラブの認知度】



#### 5. 市内のスポーツ行事及び団体について

スポーツ行事については全校区で実施される市民大運動会が突出して高く、市民マラソン、乙訓小学生駅伝や若葉カップなど主に子どもが参加する行事の認知度は4割程度の認知度であった。  
 団体については、一番高い長岡京市体育協会でも2割程度の認知度と全体的に認知度が低い結果となった。

【図表 5-1 長岡京市で行われるスポーツ行事の認知度】

1	市民大運動会	75.1
2	市民マラソン	45.8
3	乙訓小学生駅伝	41.6
4	若葉カップ全国小学生バドミントン大会	39.8
5	みんなのスポーツデー	13.8
6	市民スポーツフェスティバル	12.6
7	全国ファミリーバドミントン大会	10.8
7	トランポリン教室	10.8
9	障がい者スポーツフェスティバル	5.0
10	自分の体をリフレッシュ!	0.6
	その他	1.0
	いずれの行事も知らない	13.7
	無回答	2.5

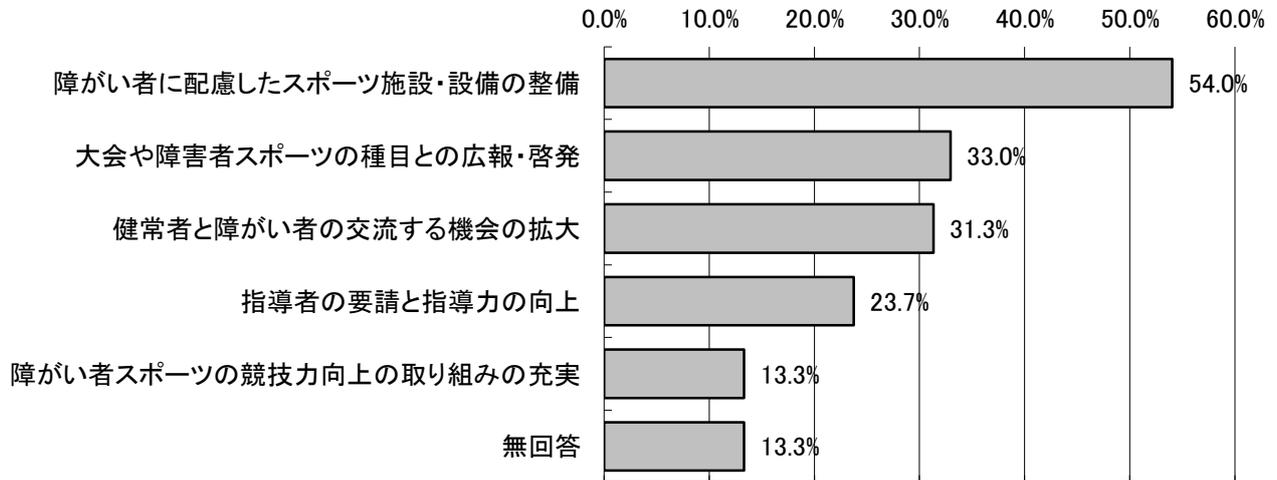
【図表 5-2 長岡京市内にあるスポーツ団体の認知度】

1	公益財団法人長岡京市体育協会	22.2
2	長岡京市スポーツ少年団	19.4
3	長岡京市スポーツ推進委員協議会	14.9
4	フォー遊クラブ	6.0
5	長岡京市総合型地域スポーツクラブ協議会	5.6
6	長岡京市学校体育連盟	5.5
7	総合型長七みんなのスポーツクラブ	5.0
8	長岡京市スポーツ団体連合会	4.6
9	ふるさとスポーツクラブ	4.2
10	長岡京市女性スポーツ連絡会	3.6
11	長五校区総合型地域スポーツクラブ	3.3
12	グッド楽クラブ	2.0
	その他	4.9
	いずれの団体も知らない	44.2
	無回答	6.2

## 6. 障がい者スポーツの振興に必要なことについて

障がい者スポーツの振興に必要なこととしては、障がい者に配慮したスポーツ施設・設備の整備が高い数値を示した。大会などの広報や、健常者との交流などがついで高い数値を示した。

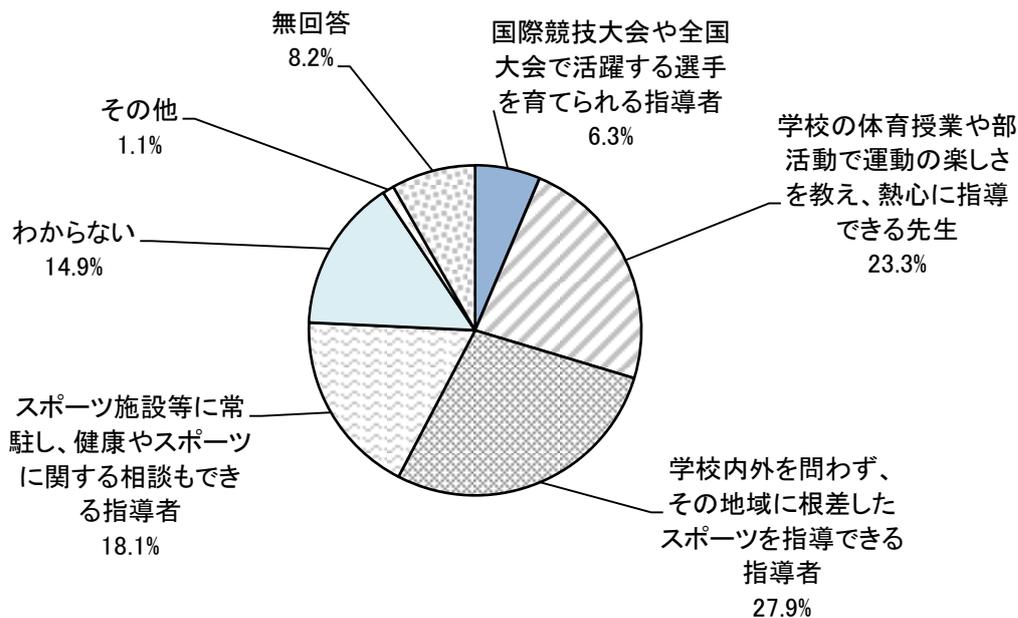
【図表 6-1 障がい者スポーツの振興に必要なこと】



## 7. 運動・スポーツ等の指導者について

運動・スポーツ等の指導者については、競技力向上よりも、部活動や地域にあったスポーツを指導できる教員や指導者が求められている割合が高い。

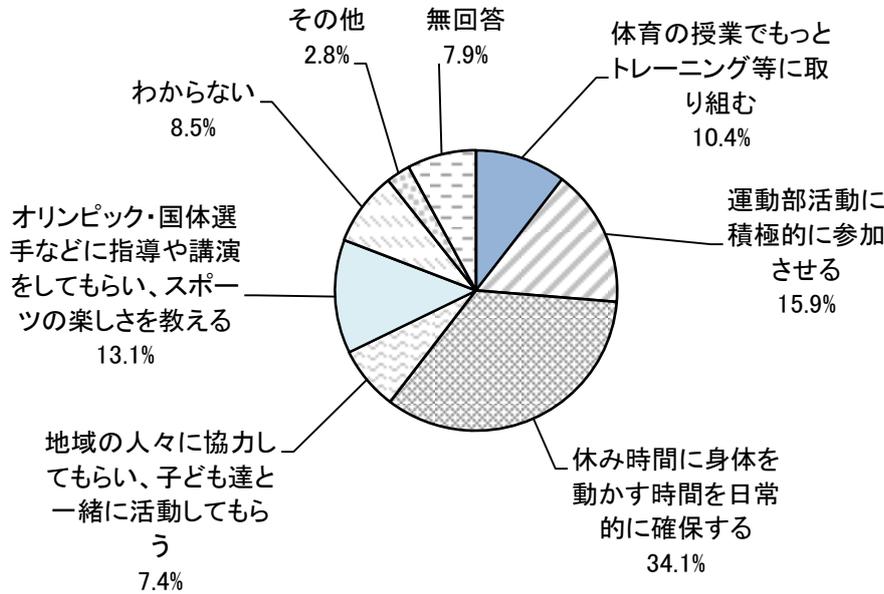
【図表 7-1 運動・スポーツ等の指導者について】



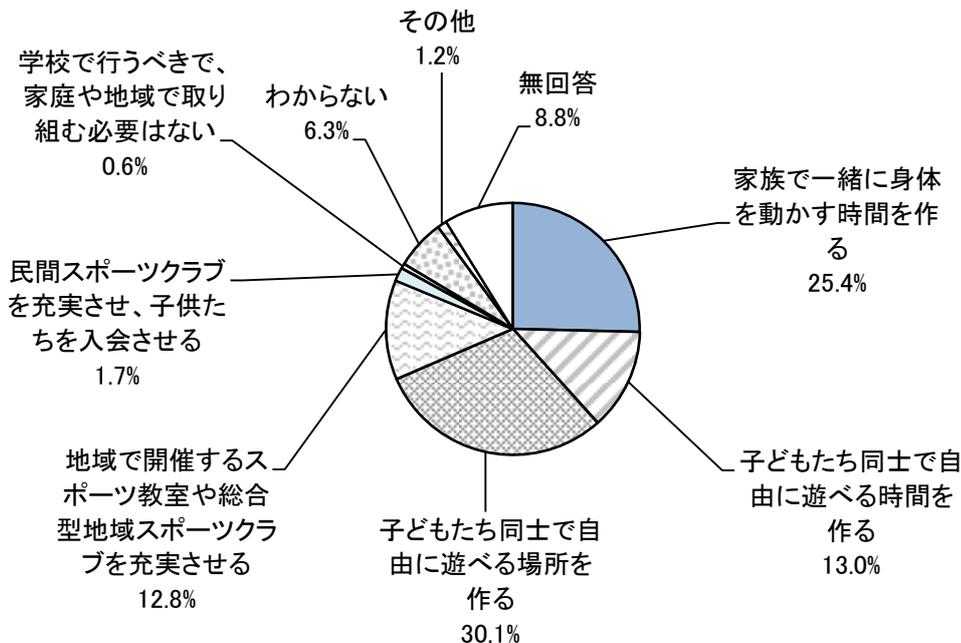
## 8. 子どもの体力向上について

学校では休み時間に体を動かす時間を日常的に確保することが一番高い回答割合となっている。家庭や地域では、自由に遊ぶことが出来る場所の整備や、家族と一緒に体を動かす時間を作ることが高い回答割合であった。

【図表 8-1 子どもの体力を向上させるために取り組むべきこと（学校）】



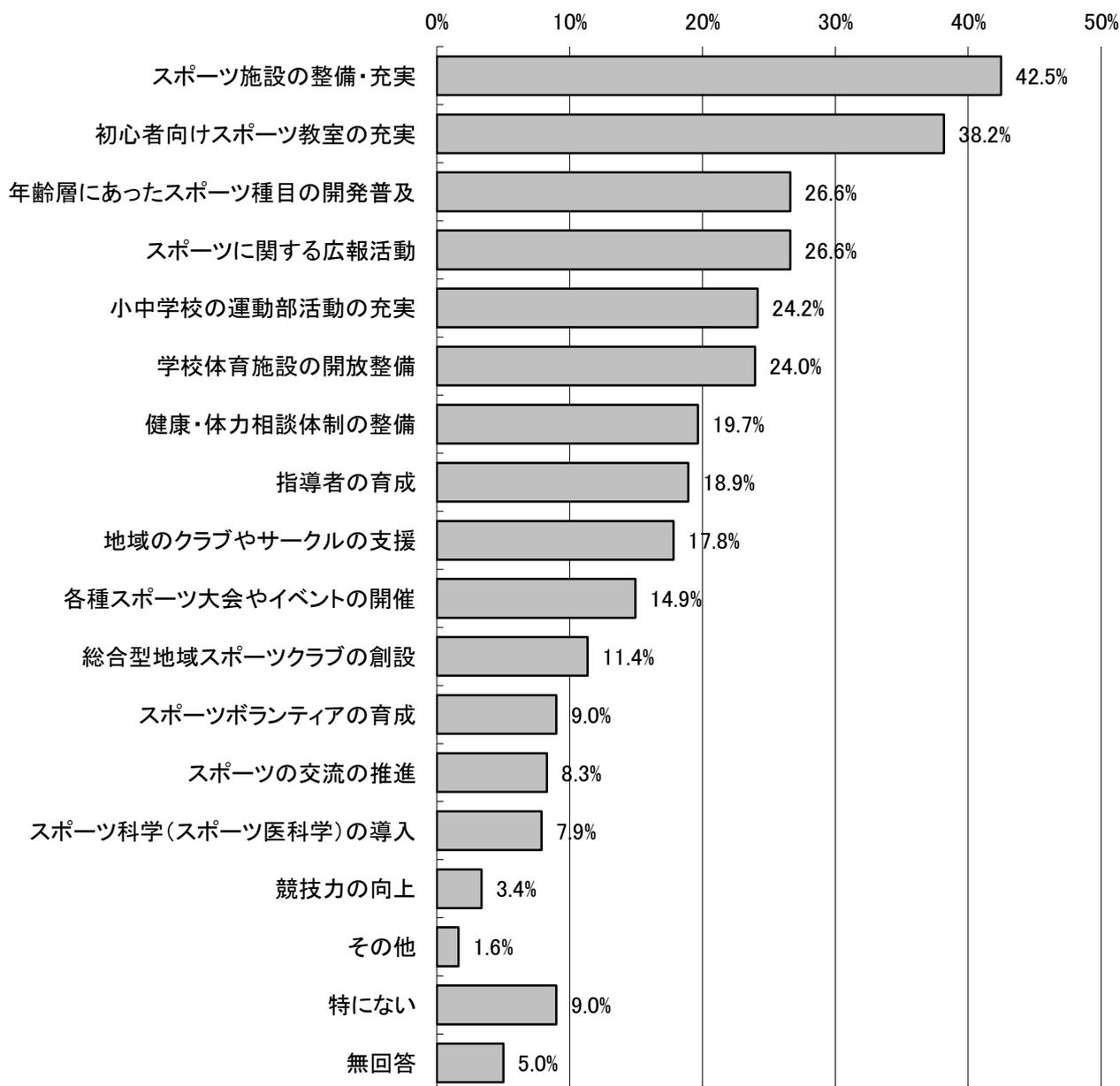
【図表 8-2 子どもの体力を向上させるために取り組むべきこと（家庭・地域）】



## 9. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について

今後のスポーツ振興のために取り組むべき施策としては、「スポーツ施設の整備・充実」、「初心者向けスポーツ教室の充実」が比較的高い数値を示した。

【図表 9-1 スポーツ振興のために取り組むべき施策】





## 長岡京市スポーツ推進計画

平成27年4月発行

長岡京市教育委員会教育部

文化・スポーツ振興室

〒617-8501 長岡京市開田1丁目1番1号

電話 075-955-9735 (スポーツ振興係)

FAX 075-955-9526 (文化・スポーツ振興室)

[bunka-sports@city.nagaokakyo.kyoto.jp](mailto:bunka-sports@city.nagaokakyo.kyoto.jp)